

家づくりのトラブルを予防し、住まいづくりを成功にみちびく情報誌

わが家塾通信

No. 4

平成18年10月

カビ・ダニ・シックハウスの特効薬は換気！ エアコン、空気清浄機の過信は禁物

- 当社への調査・診断依頼でいちばん多いのが、結露・カビ診断です。意外なことですが、その大部分が入居後10年以内の「高断熱・高気密住宅」です。
- 昨年度、横浜市の保健所に250件の住宅相談が寄せられ、相談のあった住宅を職員が訪ね、ダニの量とホルムアルデヒドの濃度を調べました。その結果、ダニの量は46%が、ホルムアルデヒドの濃度は39%が、厚生労働省の指針値を超えていました。
- 国土交通省などがつくる室内空気対策研究会では昨年度、シックハウス症候群の原因になる空気中の化学物質について、全国約4500戸で調べました。その結果、ホルムアルデヒドは指針値を超える住宅が27%ありました。
- カビ・ダニ・化学物質に対する効果的な対策は換気です。しかし、調査では換気の方法をよくわかっていない人が多かったようです。いちばん多かったのが、換気扇を回しさえすればいいと考えていて、空気の取り入れ口がない例です。壁にある空気の取り入れ口を、寒いからと紙などでふさいでいる例もあったようです。ひと昔前の隙間の多い住宅では考えられないことですが、高気密住宅では空気が入ってこなければ、空気は抜けなくなりました。
- エアコンに換気機能があると思っている人も多いようです。エアコンでは、冷暖房も除湿も、部屋の空気を循環させているだけなのです。また、空気清浄機の過信も禁物です。粒子状の汚れは取れますが、シックハウスの原因になる有機化学物質には効果が低い機種がほとんどです。
- 平成15年7月1日着工分から、居室には必ず24時間換気設備を設置しなければならなくなりました。しかし当社の調査では、結露・カビの原因の多くが24時間換気の不具合によるものでした。一見、きちんと設置されているように思える換気システムでも、空気の取り入れ口がなかったり、あってもふさがれたりしています。健康のために、食品の安全には関心がとても高いのですが、室内空気への意識は低いように思います。